【ワークシート：DP・CPの対応関係】

土木コース　学士教育プログラム

学習教育目標【A】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【A】

A. 多面的理解：物事を多面的に考えられるための人文・社会科学の素養

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【A】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），科目間の順次性・関連性，科目名＞

・共通教育科目では，人文科学および社会科学などに支えられた幅広い教養を涵養し，豊かな人間性の向上を図る。地球環境との関わりにおいて技術と社会のありかたを理解し，かつ人文・社会系の素養をも加味し物事を判断できようにする。

・3年次の専門科目「土木計画」では，土木計画の基礎となる土木史と土木景観について学ぶ。

・学習教育目標[A]は，地球環境との関わりにおいて技術と社会とのあり方を理解する素養を達成することであり，その素養を習得に関連する「共通教育等科目」を選択し，学習する。

（3）学習教育目標【A】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
選択必修（共通）		共通教育（人文）	2	1年次	前期	講義
選択必修（共通）		共通教育（総合）	2	1年次	後期	講義
選択必修（共通）		共通教育（社会）	2	2年次	前期	講義
選択必修（共通）		共通教育（総合・教養）4科目	8	2年次	後期	講義
必修（専門）	環1300	土木計画	2	3年次	前期	講義
選択必修（共通）		体育系科目	2	1～2年次		

合計単位数　18

初年次 → 高年次

【ワークシート：DP・CPの対応関係】

土木コース　学士教育プログラム

学習教育目標【B】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【B】

B. 技術者倫理：亜熱帯島嶼地域の自然・社会環境を理解するとともに，土木技術の実社会に対する影響や効果を理解し，技術者としての社会的責任（技術者倫理）を考える素養

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【B】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），授業間の関連性，科目名＞

・1年次科目「土木工学概論」，2年次科目「土木行政」，3年次科目「土木技術者倫理」で土木工学の概要，行政との関わり，技術者の社会的責任を数多くの事例等を通して学ぶ。

・2，3年次科目の「島嶼環境計画論」，「土木材料」，「海岸工学」，「地盤工学」，「環境システム」，「環境衛生工学」では，
亜熱帯島嶼地域の自然・社会環境を地球環境などの視点から専門的課題として捉え，その課題解決方法を見出す能力，および，環境を育み持続可能な発展を支える知識や能力を身に付ける。

（3）学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（専門）	環1190	土木工学概論	2	1年次	前期	講義
必修（専門）	環1490	土木行政	2	2年次	前期	講義
必修（専門）	環1394	土木技術者倫理	2	3年次	後期	講義
自由選択（専門）	環1200	島嶼環境計画論	2	2年次	前期	講義
必修（専門）	環1234	土木材料	2	2年次	後期	講義
必修（専門）	環1360	海岸工学	2	3年次	前期	講義
自由選択（専門）	環1380	地盤工学	2	3年次	後期	講義
自由選択（専門）	環1302	環境システム	2	3年次	前期	講義
自由選択（専門）	環1306	環境衛生工学	2	3年次	後期	講義

合計単位数　18

初年次 → 高年次

【ワークシート：DP・CPの対応関係】

土木コース　学士教育プログラム

学習教育目標【C】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【C】

C. 基礎能力：実社会で直面する様々な問題に対応するため，土木工学の基礎となる数学・物理および情報処理に関する知識の習得と，それを応用する能力

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【B】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），授業間の関連性，科目名＞

・1，2年次の数学，物理，力学系科目で，数学，物理の素養を中心とする自然科学分野の基礎を理解することおよび情報技術に関する基礎知識を学ぶ。

・地球環境などの幅広い分野での数理的な素養の応用について理解を深める。

（3）学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（共通）		微分積分学ST1	2	1年次	前期	講義
必修（共通）		微分積分学ST2	2	1年次	後期	講義
必修（専門）	環1194	線形代数学A	2	1年次	前期	講義
必修（専門）	環1196	常微分方程式A	2	1年次	後期	講義
自由選択（専門）	環3100	確率及び統計	2	1年次	後期	講義
必修（専門）	環1290	偏微分方程式A	2	2年次	前期	講義
自由選択（専門）	環1295	複素関数論	2	2年次	後期	講義
必修（共通）		物理学1	2	1年次	前期	講義
必修（共通）		物理学2	2	1年次	後期	講義
必修（専門）	環1130	基礎力学	2	1年次	前期	講義
自由選択（専門）	環1160	基礎流体力学	2	1年次	後期	講義
自由選択（専門）	環1136	計算力学	2	3年次	前期	講義
必修（専門）	環1192	土木基礎情報処理	1	1年次	後期	演習
必修（専門）	環1296	土木情報処理	2	2年次	後期	講義

初年次 → 高年次

合計単位数　27

【ワークシート：DP・CPの対応関係】

土木コース　学士教育プログラム

学習教育目標【D】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【D】

D. 専門技術：土木工学の主要専門分野である構造工学，土木材料学，地盤工学，水工水理学，土木計画学の基礎および応用能力の習得と自己継続学習能力

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【B】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），授業間の関連性，科目名＞

・1～3年次の専門系科目で，土木工学における専門基礎知識を身につけ，さらに実践的技術の将来にわたる向上を支える能力を培う。

・解決が要求される課題に対して，必要な自然科学および技術の適応能力と企画力を身につけること，ならびにその継続的な涵養を養う。

（3）学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（専門）	環1132	材料力学及び演習	3	1年次	後期	講義+演習
必修（専門）	環1230	構造力学1及び演習	3	2年次	前期	講義+演習
必修（専門）	環1232	構造力学2及び演習	3	2年次	後期	講義+演習
必修（専門）	環1330	鋼構造工学	2	3年次	前期	講義
自由選択（専門）	環1336	計算力学	2	3年次	前期	講義
自由選択（専門）	環1340	橋設計論	2	3年次	後期	講義
必修（専門）	環1234	土木材料	2	2年次	後期	講義
必修（専門）	環1334	コンクリート構造工学	2	3年次	前期	講義
自由選択（専門）	環1160	基礎流体力学	2	1年次	後期	講義
必修（専門）	環1260	水理学1及び演習	3	2年次	前期	講義+演習
必修（専門）	環1262	水理学2及び演習	3	2年次	後期	講義+演習
必修（専門）	環1360	海岸工学	2	3年次	前期	講義
自由選択（専門）	環1384	港湾工学	2	3年次	後期	講義
自由選択（専門）	環1364	河川工学	2	3年次	後期	講義
必修（専門）	環1276	土質力学1及び演習	3	2年次	後期	講義+演習
必修（専門）	環1376	土質力学2及び演習	3	3年次	前期	講義+演習
自由選択（専門）	環1380	地盤工学	2	3年次	後期	講義
自由選択（専門）	環1382	岩盤力学	2	3年次	後期	講義
必修（専門）	環1202	土木計画数理及び演習	3	2年次	後期	講義+演習
必修（専門）	環1300	土木計画	2	3年次	前期	講義
自由選択（専門）	環1302	環境システム	2	3年次	前期	講義
自由選択（専門）	環1304	道路交通計画	2	3年次	後期	講義
自由選択（専門）	環1396	土木施工	2	3年次	後期	講義
必修（専門）	環1292	測量学1	2	2年次	前期	講義
自由選択（専門）	環1298	測量学2	2	2年次	後期	講義
自由選択（専門）	環1492	火薬学	2	4年次	前期	講義
必修（専門）	環1395	シビルエンジニアリングデザイン	1	3年次	後期	実習

合計単位数　61

初年次 → 高年次

【ワークシート：DP・CPの対応関係】

土木コース　学士教育プログラム

学習教育目標【E】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【E】

E. 計画性：実験・実習・製図を通して，土木工学の専門技術や情報処理技術を利用し，計画的に問題を解決し，それをまとめ，表現する能力

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【B】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），授業間の関連性，科目名＞

・1～3年次の専門系科目で，土木工学における専門基礎知識を身につけ，さらに実践的技術の将来にわたる向上を支える能力を培う。

・解決が要求される課題に対して，必要な自然科学および技術の適応能力と企画力を身につけること，ならびにその継続的な涵養を養う。

（3）学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（共通）		物理学実験	1	1年次	前期	実験
選択必修（専門）	環1362	水工学実験	1.5	3年次	前期	実験
選択必修（専門）	環1783	土質工学実験A	1.5	3年次	前期	実験
選択必修（専門）	環1338	コンクリート工学実験	1.5	3年次	前期	実験
必修（専門）	環1293	測量学実習1	1.5	2年次	前期	実習
自由選択（専門）	環1299	測量学実習2	1.5	2年次	後期	実習
自由選択（専門）	環1390	土木現業実習1	2	3年次	前期	実習
自由選択（専門）	環1391	土木現業実習2	1	3年次	前期	実習
選択必修（専門）	環1204	土木設計製図	1.5	2年次	後期	実習
選択必修（専門）	環1342	設計演習1	2	3年次	後期	実習
選択必修（専門）	環1344	設計演習2	2	3年次	後期	実習
必修（専門）	環1395	シビルエンジニアリングデザイン	1	3年次	後期	実習

合計単位数　18

初年次 → 高年次

【ワークシート：DP・CPの対応関係】

土木コース　学士教育プログラム

学習教育目標【F】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【F】

F. 表現力：日本語によって物事を論理的に記述し，プレゼンテーションを行う能力

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【B】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），授業間の関連性，科目名＞

・1～3年次の科目で，自然現象及び物理現象に関する基礎的な表現力を身につけ，学術的な課題を日本語によりまとめ，論理的に記述・発表・討議できる能力を培う。

（3）学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（共通）		日本語表現法入門	2	1年次	前期	講義
選択必修（専門）	環1362	水工学実験	1.5	3年次	前期	実験
選択必修（専門）	環1783	土質工学実験A	1.5	3年次	前期	実験
選択必修（専門）	環1338	コンクリート工学実験	1.5	3年次	前期	実験
必修（専門）	環1496	卒業研究	6	4年次	通年	その他
必修（専門）	環1192	土木基礎情報処理	1	1年次	後期	演習
自由選択（専門）	環1390	土木現業実習1	2	3年次	前期	実習
自由選択（専門）	環1391	土木現業実習2	1	3年次	前期	実習
必修（専門）	環1395	シビルエンジニアリングデザイン	1	3年次	後期	実習

合計単位数　17.5

初年次

↓

高年次

【ワークシート：DP・CPの対応関係】

土木コース　学士教育プログラム

学習教育目標【G】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【G】

G. 外国語科目：国際的に活躍するために，英語およびその他の外国語の基礎ならびにコミュニケーション能力

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【B】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），授業間の関連性，科目名＞

・1～4年次の科目で，英語およびその他の外国語による自然現象及び物理現象に関する基礎的な表現力およびコミュニケーション能力を培う。

・外国語によるコミュニケーション能力に関する，共通教育英語等の科目の履修を通して，国際的に通用するコミュニケーション能力を身につける。

（3）学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（共通）		大学英語	4	1年次	前期	講義
必修（共通）		英語購読演習中級	2	1年次	前期	講義
必修（共通）		英語購読演習上級	2	2年次	前期	講義
選択必修（共通）		第2外国語1	2	1年次	前期	講義
選択必修（共通）		第2外国語2	2	1年次	後期	講義
自由選択（専門）	環1494	土木セミナー	1	4年次	前期	実習
必修（専門）	環1395	シビルエンジニアリングデザイン	1	3年次	後期	実習

初年次 → 高年次

合計単位数　14

【ワークシート：DP・CPの対応関係】

土木コース　学士教育プログラム

学習教育目標【H】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【H】

H. 問題解決能力：自ら問題を発見し，その課題を解決するための研究を計画的に遂行し，その結果をまとめ，発表できる能力

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【B】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），授業間の関連性，科目名＞

・「土木工学概論」，「卒業研究」で，基礎的な専門知識の修得の下に，より高度な専門的，総合的知識を理解し，技術的な諸問題に対する主体的な調査，計画，研究等を通して，それらを解決できること，およびその結果を的確に発表できることを学ぶ。

・土木工学における専門知識とその応用力を継続的に養う能力を培う。

（3）学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（専門）	環1190	土木工学概論	2	1年次	前期	講義
必修（専門）	環1496	卒業研究	6	4年次	通年	その他
必修（専門）	環1395	シビルエンジニアリングデザイン	1	3年次	後期	実習

合計単位数　9

初年次 → 高年次